

平成27年度 経済部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(経済部関係分)

政策 02	<p><b>政策展開の方向性</b></p>
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かし、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などによって地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組めます。</p>
<p><b>平成27年度に向けての展開方針</b> (方針や重点事業の計画等を記載)</p>	
<p><b>02-01 都市型農業の推進</b></p>	
<p>・持続可能な地域農業を実現するとともに、生産性・安定性の高い農業経営環境を実現するため、関係団体と連携した担い手の育成、国の制度を活用した担い手の確保や農地集積の促進に取り組めます。平成27年度は、道央農業振興公社と連携した担い手の育成や国の制度を活用した各種支援などを行います。</p> <p>・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、それらの域内消費、市外への販路拡大を推進するため、江別産農畜産物のブランド化・イメージアップ化に取り組めます。そのため、平成27年度は、地域のブランド品を維持・拡大するためのPRや安定供給に向けた取り組みを支援します。</p> <p>・農業生産基盤の安定・向上や鳥獣による農業被害の低減のため、農業生産基盤の計画的な整備や鳥獣による農業被害対策の強化に取り組めます。そのため、平成27年度は、国・道事業の活用による排水路改修などの基盤整備の推進や鳥獣被害防止に向けた取り組みなどを行います。</p> <p>・(仮称)都市と農村の交流拠点施設を中心とした農業者と消費者との交流や食育事業等の実施により、地産地消を推進します。また、地元農業への理解を深めるため、都市と農村の交流を図ります。そのため、平成27年度は、(仮称)都市と農村の交流拠点施設建設に向けた実施設計を進めるほか、小中学生や高齢者を対象とした食育関連事業、都市と農村の交流活動などを支援します。</p>	
<p><b>02-02 商工業の振興</b></p>	
<p>・国際的な食の有用性研究評価拠点となることを目指し、当該研究の推進を支援していきます。そのため、27年度は健康カード事業による市民の健康づくりと連携した食の臨床試験ボランティア基盤の拡大や、企業における機能性食品開発の推進に向けた環境整備に取り組めます。</p> <p>・食関連産業に係る立地優位性の評価が確立することを目指し、フード特区のPRや推進体制の維持、市内企業による取組支援を行います。そのため、27年度はフード特区機構の運営支援、東京都内のイベント開催によるPR、市内企業の参加による新商品開発のモデル事業を実施します。</p> <p>・市内企業の海外販路拡大を支援していきます。そのため、27年度は商社を活用した海外企業とのマッチングなど市内企業の輸出等の取組を支援します。</p> <p>・企業の誘致促進と既存企業の事業継続への支援を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の場の創出を図ります。そのため、27年度は、26年度に施行した「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づく補助制度のPR活動に力を入れ、特に、RTNパークへの食品企業の誘致を推進します。また、今後の工業用地の確保等に向け、地権者等との協議を継続します。</p> <p>・市内に立地する企業をPRし、企業間連携のきっかけをつくるため、企業PRガイドを市HPに掲載することにより、情報発信を図ります。更に、27年度は、掲載企業の拡大を図ります。</p> <p>・金融機関や江別商工会議所と連携した融資事業を実施することにより、中小企業の経営の安定を高め、生産力を向上させ地域経済の活性化を図ります。そのため、平成27年度は、各種融資制度による経営の充実を図り、新製品開発や商品化コーディネートへの補助、商談会出店など販路拡大に向けた支援を行います。</p> <p>・新製品、新ビジネスの創出に取り組むネットワークの構築を目指し、企業や大学・研究機関との連携などによる共同開発や共同研究を促進します。そのため、27年度は、企業間の連携・共同研究を後押しするため、会員企業における新製品開発や企業間連携にかかるニーズ把握、会員企業の情報提供を行います。</p> <p>・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指します。そのため、27年度は、働きたい女性のための求人企業による説明会の開催や就職相談窓口の開設、就職に向けた研修や実習による人材育成支援のほか、大学生対象の各種インターンシップや地元企業への就職促進、高校生対象の就業体験や面接指導等による就職支援を行います。</p> <p>・高齢化の進展など経済社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会(コミュニティ)活動の拠点としての機能を高めていきます。そのため、27年度は、商店街コミュニティ活動の啓発セミナーを継続実施し多様な主体の参入を促すとともに、江別の顔づくりの一環として野幌商店街に地域課題の解決を目的としたコーディネーターの常設を継続するほか、活性化に資するテナント出店を支援します。</p>	

02-03 観光による産業の振興

・市内にある自然や歴史的遺産、また新たな観光資源を発掘して地域資源として活用し、市外への魅力発信により江別の認知度の向上を図り、観光誘客を進めます。そのため、27年度は、子育て世代向け観光ルートマップやJR野幌駅周辺地区を回遊する健康ウォーキングマップを作成し、街並みの魅力発信のための観光ルートを提供します。また、新たな観光資源として東野幌にあるノハナショウブ群生地の保存活用を図ります。

・江別のまちを知ってもらい、江別市に来てもらえるように江別の観光資源などを情報発信し、江別の魅力を感じてもらえる環境づくりに取り組みます。そのため、27年度は、観光パンフレットの作成配布やホームページ、メールマガジン等により、様々な観光・イベント情報を発信していきます。

・豊かな自然や歴史的遺産等の地域資源と安全でおいしい食を結びつけることにより、江別産品としてのイメージアップを図り、物産と観光を融合した魅力をアピールしていきます。そのため、平成27年度は、食と健康や陶芸体験などを組み合わせ、周辺市町村の子育て世代の親子を対象としたバスツアーの実施など、ニーズに合わせた観光プランを提供します。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,521				↗
製造品出荷額等	百万円	85,201				↗
観光入込客数	人	768,000				↗

経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

「江別市農業振興計画」 1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409				↗
えべつの農産物加工品認定数	件	0				↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7				↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000				↗
「企業誘致推進事業」 立地企業・事業所数	社	0				↗
「企業立地等補助金」 補助金認定件数(累計)	件	22				↗
「総合特区推進事業」 食関連企業の新増設数	件	0				↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31				↗
「地域発見魅力発信事業」 主要施設の観光入込客数	人	126,000				↗

政策  
04

政策展開の方向性

交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。

平成27年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

04-01 安全な暮らしの確保

・消費者被害にあわず安心して暮らせる社会を目指します。そのため、27年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確な対応と未然の防止の啓発に努めます。

安全  
・  
安心

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	78.2				↗
災害対策が充実し安心と思う市民割合	%	52.1				↗
消防・救急活動に満足している市民割合	%	89.5				↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「消費生活相談事業」 消費生活相談件数	件	591				↘

政策  
07  
生涯学習・文化

### 政策展開の方向性

市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。

平成27年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

#### 07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

・れんが建造物の保存活用や街並みや生活空間にれんがを取り入れ、江別市民全体がれんがのまちを誇りに思えるような市民意識の醸成を図ります。そのために、27年度は、旧ヒダ工場を民間事業者により魅力ある施設として再生・利活用するほか、セラミックス交流会によるミニチュアレんが・家庭用レンガ窯等のれんが製品の普及啓発や開発、れんが利活用事例を作成・PRしていきます。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2				↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	18.3				↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2				↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「歴史的れんが建造物保存活用事業」 歴史的れんが建造物の利活用件数	件	9				↗

## 2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略1 ともに作る協働のまちづくり	

<p style="text-align: center;">戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化</p>	<p>■2A 産業間連携等による産業の活性化</p> <p>「経済活動広報事業」(商工労働課)</p> <p>「商工業活性化事業」(商工労働課)</p> <p>「江別経済ネットワーク事業」(商工労働課)</p> <p>「食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業」(商工労働課)</p> <p>「野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業」(参事 商店街活性化)</p> <p>「商店街参入促進事業」(参事 商店街活性化)</p> <p>「総合特区推進事業」(参事 総合特区推進)</p> <p>■2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開</p> <p>「企業誘致推進事業」(企業立地課)</p> <p>「企業立地等補助金」(企業立地課)</p> <p>「都市と農村交流事業」(農業振興課)</p> <p>「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)</p> <p>「総合特区推進事業」【重複】(参事 総合特区推進)</p> <p>■2C 雇用の創出と人材育成の充実</p> <p>「企業立地等補助金」【重複】(企業立地課)</p> <p>「働きたい女性のための就職支援事業」(商工労働課)</p> <p>「有給インターンシップ等地域就職支援事業」(商工労働課)</p> <p>「高校生就職支援事業」(商工労働課)</p> <p>「介護人材育成事業」(商工労働課)</p> <p>■2D 地域資源の活用による観光の振興</p> <p>「地域発見魅力発信事業」(商工労働課)</p> <p>「都市と農村交流事業」【重複】(農業振興課)</p> <p>「江別観光協会補助金」(商工労働課)</p>
<p style="text-align: center;">戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり</p>	
<p style="text-align: center;">戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート</p>	<p>■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信</p> <p>「総合特区推進事業」【重複】(参事 総合特区推進)</p> <p>「江別産農畜産物ブランディング事業」【重複】(農業振興課)</p> <p>「地域発見魅力発信事業」【重複】(商工労働課)</p>

### 3. 経済部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	1,827,215	1,936,818			
	特別会計 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	1,827,215	1,936,818			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	27.25	27.25			
	平均単価 (b)	7,824	7,822			
	人件費 (a×b)	213,204	213,150			
総 額		2,040,419	2,149,968			